

公募制推薦入学試験 小論文 講評

【出題のねらい】

この出題のねらいは、「課題文の意味を正確に理解できたかどうか」、「設問に簡潔に対応できたか」、「課題文に対する自分の意見が論理立てて述べられているかどうか」をみることです。設問では筆者の述べていることのまとめが求められていますから、規定文字数内でバランスよく文章を書きあらわすことがポイントです。

【受験生へのアドバイス】

課題文では「人に対して自己を語る」際の役割について、自分と聞き手との立場から書かれています。また、自己を語ることによる再評価についても、自分の視点と聞き手の視点との立場から書かれています。この点を常に意識して筆者の考え方をくみ取るようにしましょう。また、課題文の趣旨に対する自分の意見を述べる際にはその根拠として「ネットでのコミュニケーション」または「他人に自己を語ること」の実体験を書き入れてもよいでしょう。

スポーツ推薦1期入学試験 小論文 講評

【出題のねらい】

課題文は、「集団主義」を特徴とする日本社会と個人を中心とする「開放型」のアメリカ社会との相違を文中の幾つかのキーワードを手掛かりとして正しい認識に導くことが出来るかを問うことをねらいとしています。

設問は二つから成り、設問①は、「信頼」を「安心」と対照的な社会の特性として読み解けるかが問われる問題となっております。設問②は、設問①を踏まえた上で、課題文に添いながらこれを自身の言葉で表現し、論ずる能力が求められる問題となっております。

【受験生へのアドバイス】

まずは、課題文から「安心」、「信頼」という対照的なキーワードを導き出すことが必要となります。そしてこれに基づき各々のキーワードが課題文中でどのような論理で結び付けられているかを、メモを取りながら議論の流れ方を追っていくと良いでしょう。

ことに問②に対しては、解答者自身の考えを問う問題構成となっている点に注意しなくてはなりません。課題文中の言葉の指す意味と照らし合わせながら、自身の体験も踏まえてこれを自分の言葉に直して記述していくことが必要となります。